



学校だより 8.9月号

令和7年8月27日発行

ふるさとに学び ふるさとで遊び ふるさとを愛する子 ～ふれあいがやき豊かな心～

子どもたちの声が

校長 杉山 波也

今年の夏も厳しい暑さが続きました。携帯電話に熱中症警戒アラートの通知が届くたびに、「まだ・・・。」と思いながら、画面を伏せたことも何度もありました。猛暑の中での体調管理や外での活動は、様々気を遣うことがあり、ご家庭でも苦勞されたのではないのでしょうか。しかし、夏休み中の様々な体験を通して子どもたちは心も体も大きく成長したことだと思います。ご家族と過ごした時間、お祭りやイベントなど地域行事への参加、自然の中での体験、お手伝いや読書・自由研究等、自主的な取組など、一人ひとりがそれぞれの夏を過ごし、その経験が子どもたちをたくましくしてくれたことでしょう。どんな夏休みだったか、子どもたちからたくさん話が聞けることを楽しみにしています。

長かった夏休みも終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。元気にあいさつする姿や友達と久しぶりに再会して笑顔で話している姿などを見て、改めて子どもたちに会える喜びを感じました。今日から前期後半の学校生活が始まります。各教科の学習はもちろんのこと、校外学習やかもリンピックなどの行事、日常の学校生活の中で、子どもたちが力を発揮していけるよう、引き続き一人ひとりの思いを大切にしながら、励まし、支えていきます。子どもたちが自分たちで楽しく豊かな学校生活をつくっていけるよう、教職員一同心から応援していきます。



長かった休みが明けた時期は、生活のリズムを取り戻すのに時間がかかることもあります。朝起きるのがつらい、気持ちがなかなか前向きになれないなど、子どもが心や体に小さな不調を抱えることもあります。そのようなときはどうぞ無理をせず、担任をはじめ学校に遠慮なくご相談ください。少しずつ安心して一歩が踏み出せるよう、家庭と学校が手を携えながらお子さんに寄り添っていかれたらと思います。



本校の教育活動が、保護者の皆様、地域の皆様のお力添えによって支えられていることに改めて感謝申し上げます。天気予報ではこの先も、例年より暑い日が続くとのことです。学校でも熱中症対策に取り組んでまいりますが、お子さんが元気に学校生活を過ごすことができるよう引き続きご協力ください。今後ともどうぞよろしくお願いします。